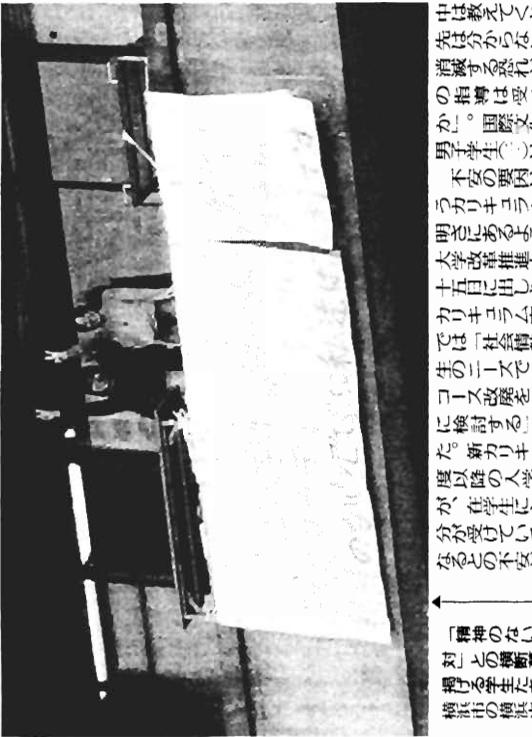


カリキュラム変更で競争力強化?

来年度からの独立行政法人化に向けた横浜市立大学改革に、現場の動脈が続いている。「科目などが揃られ、自分の専攻課程がなくなる」と在学生間で不安が広がっているためだ。学部削減やカリキュラム変更の不透明さに不満も募る。「改革は実質的に中田宏市長のトップダウンで、現場の声を反映していない」との批判が出るなかで、改革を目指す「競争力のある大学」に生まれ変わるのがー。(藤原正樹)



の横断幕を校舎に
する学生たちの姿も=

「日本史事故だが、必要性は基礎科目の古文書学もなるセミ専任教授が定して非常勤になり、本年度中は教えてくれるが、その場合は分からない。セミ」と憲教選する気があり、卒論の指導は受けられるの?」。国際文化学部三年の女子学生(二)は悲観的だ。不安の要因は改革に伴うカリキュラム変更の不透明さにあるようだ。横浜市立大学改革推進本部が先月二十五日に出した「コス・カリキュラム案等報告書」には「社会情勢の変化、学部の二つで(専門教養)コース改廃を一定期間ごとに検討する」と打ち出している。新カリキュラムは来年以降の入学者が対象だが、これまでの在学生にとっては、自分が受けている授業がなくなるとの不安がある。

「日本史事故だが、必要性は基礎科目の古文書学もなるセミ専任教授が定むる非常勤になり、本年度中は教えてくれるが、その場合は分からぬ。セミミニ講義を受ける気があり、卒論の指導は受けられるの？」。国際文化部三年の男子学生（一）は懇願的だ。

不安の要因は、改革に伴うカリキュラム変更の不透明さにあるようだ。横浜市立大学改革推進本部が先月二十五日に出した「コス・カリキュラム案等報告書」には「社会情勢の変化、学部の二つで（専門教養）コース改廃を一定期間ごとに検討する」と打ち出している。新カリキュラムは来年春以降の入学者が対象だが、これまでの在学生にとっては、自分が受けている授業がなくなるとの不安がある。

を優先した梧野の挙げ改革でしかない。辞める教員も「やるだう」と批判する。商業部二年の男子学生(二)は「数学は経済学の基礎で、しっかり身についたかにつたに…」と嘆る。大学院のカリキュラムも文系学生の選択肢を狭める内容に変わる。前出の報告書では「文系の大学院博士後期課程は指導教員が責任を持って論題に学生数を絞る」と削除した。

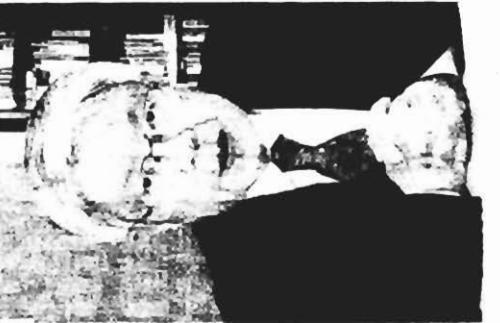
「横浜市人を考える市民の会」副代表で同大講師(二)によると文系の選修科明氏は「研究者を目指す文系学生は前開講程だけに辞めると、大学院に入った意味がない。教員免許は英語・理科・数学だけになり、国語・社会は取得できなくななる。大学院に進む文系学生が激減する可能性が高くなる」と実用的でない人文系つぶしの狙いは明らかに直指する。

妻森、国際文化学部卒業二年の女子学生(一)は「自分の専攻範囲が残るかどうかが不安で、大学院進学を希望していたのに計算した知人が多数いる」。横大などの大学院に移った人も同じ理由だと改革を歓迎する学生もいるようだ。

國
學
生

「事攻課程がなくなる」

改革断行「内部だけでは無理」

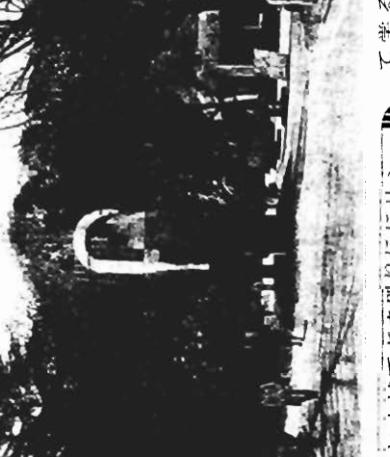


必要性を強調する横浜市立大の
小川恵一学長=横浜市立大の同大

結果で正しさ証明」

改革の行方には、市立大学の横浜市から不安の声が上がる

甲長の意向、子長認める



解題の発展

「基督教養の削減を進行している」
これが、独立法人化に伴い運営を評価するなら、三月に発足した大学評議会の運営委員で名古屋大学大院の池内了教授は、アスベクト物理学ではこう信頼する。国立大へ化するにあらゆる困難を持った学生をもつと、基督教養釋義が少する動きがあるが、この改革は逆行していく。あの改革内容でアベラーリーの骨板を擡げるのも疑問を感じる。就職に必要な教科を強化して即戦力の育成を目的とする学生をつくるのが目的で、これでは研究の質が落として「大学の格」が下がる。中大から優秀な教員や学生がいなくなる、つぶれてしまうのではないかと懸念するしかないと強調した。

「エスクモー」
日曜を立て貰したコ
氏が、あれだけ厳しい
ストラを断行したのを
詳しく述べたのは、仕事
と、同時に奉行質で起
事件がある。どうも確
實買いたがたう。
はうが體に悪いわけ
なに。しかし、それだけ
はうが體に悪いわけ
はうが、あらざること
うことならう。金輪